

熊本県立特別支援学校3校合同研究「中間報告会」

平成29～31年度 文部科学省「特別支援教育に関する実践研究充実事業
(次期学習指導要領に向けた実践研究)」

研究テーマ

知的障害特別支援学校のカリキュラム・マネジメントに関する研究

～学習評価を指導計画につなぐ教育課程の構造化と

各教科内容表の活用によるカリキュラム・マネジメントの充実～

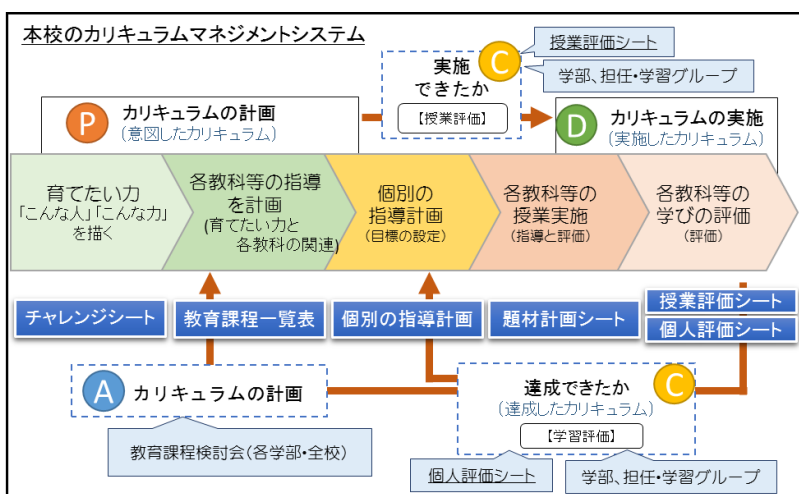
2019年1月26日(土)熊本県庁で開催された中間報告会で、本校も研究指定校として、研究成果を報告しました。

本校からは、本校のカリキュラム・マネジメントシステムと、主体的・対話的で深い学びの実現など、授業改善や実践研究の成果を報告しました。

報告1 学習評価をカリキュラム・マネジメントにつなぐ構造化 **「こんな人」「こんな力」を描きながら**



本校では、子どもたちの将来の姿を描くツールとして「チャレンジシート」などを用い、目標を立て、各教科等の授業の充実を目指しています。



報告2 教科内容表の活用 **子どもたちの学びを「つかむ」「つなぐ」「積み重ねる」**

研究指定校3校で、「各教科内容表」を作成しました。これは、新学習指導要領を参照し、題材や単元の構成、そして3つの観点での目標設定などができやすいように、各教科の教育内容を一覧にしたものです。

その他の活用として、アセスメントとして、また子どもの学びを振り返り、学びの履歴としても活用できることなどが分かってきました。



報告3 「主体的・対話的で深い学び」の実現などの授業改善

「つかむ・見通す」「さぐる」「深める」「まとめる」わくわくする授業

学習グループの編成や、授業展開や学習活動、教材・教具の開発、環境整備をとおして「主体的・対話的で深い学びの実現」など授業改善を目指した実践研究に取り組み、授業づくりにおける様々なポイントを整理してきました。

それらの研究成果を、ポスターセッションで報告しました。

